

会期:2026年

アマラシ山形農長井市

0地点[北海道札幌市]

飛生アートコミュニティ

ニティー[北海道白老町]

10月17日

土

Barrack(古畑大気十近藤佳那子)慶知會瀬戸市

協力

も

働

の

12月21日

月

いく

山中suplex[滋賀県大津市]

協働

札幌大通地下ギャラリー 500m美術館では、日本国内で活動するアート・コレクティブに注目する展覧会「いくつもの、協働」を開催します。

アート・コレクティブとは、複数の人々が関わりながら制作や活動を行う実践および協働体を指します。

個人で制作する芸術家像とは異なり、異なる立場や背景をもつ人々が関係を結びながら活動を展開しています。

本展では、各地(愛知県、滋賀県、北海道、山形県)に点在する5つのコレクティブの取り組みを紹介し、個人が集団の中でどのように協働しているのか、その関係のあり方に目を向けます。

また、離れた場所で展開される実践が、どのような同時代性を共有しているのかについても考えます。

協働は単に人が集まることではなく、異なる考えや立場をもつ者同士が関わり続けるなかで形づくられていきます。

近年、各地に生まれているコレクティブは、美術作品の制作にとどまらず、日常の延長線上に開かれた場をつくり、新たな関係を立ち上げています。

多様な人々が共にいることの困難さや、協働の難しさを抱えながら、それぞれ異なるままで関わり続けること。

本展が、そのあり方について考える契機となれば幸いです。

amefurashi

アメフラシ [山形県長井市]

撮影:kenshiro



2015年に結成。山形県長井市を拠点に活動するアーティストグループ。2024年からは、村上滋郎(むらかみ・じろう)、松崎綾子(まつざき・あやこ)、池田将友(いけだ・まさとも)の3名をコアメンバーとし、地域の方や仲間と共に活動をしている。拠点は、かつて印刷工場だった「Kosyau」。使われなくなっていた建物を、自分たちの手で少しずつ直している。完成を目指すというよりも、使いながら直し、直しながら考える。だからKosyauは、いまだ途中のまま。その変化し続ける過程そのものを、活動の一部と考えている。お祭りで使用する草鞋の継承や、ほうきの継承など、日々の営みの延長にあり、区切りのない時間の中で少しずつ形を変えながら続いている、そんな活動を行っている。

参加作家: アメフラシ

Ochiten

0地点 [北海道札幌市]

撮影: 櫻田竜介



札幌の古民家をリノベーションしてつくられたアーティストトランススペース。2021年の設立以降、メンバーの入れ替わりを重ねながら、現在は20代半ばから30代前半の9人が関わり、活動を続けている。個々がそれぞれの制作を行う一方で、日々の会話や共同作業、時には衝突やケアを通して、それぞれ異なる距離感で場所と関わっている。

集団として一つの目的を共有するというより、同じ場所に居合わせるなかで生まれる関係や出来事の蓄積によって、形づくられてきた場所である。2026年11月末で現在の建物からの退去が決まり、メンバーもそれぞれの場所へ離れるため、0地点はこの場所での活動を終えることになる。

参加作家: 久保勝大、小石川彩葉、田口虹太、橘雅也、平井柊哉、堀江理人、森山美桜、優羽、鷺尾幸輝
歌詞制作協力: 宮向井奈桜、和田佳己

TOBIU ART COMMUNITY

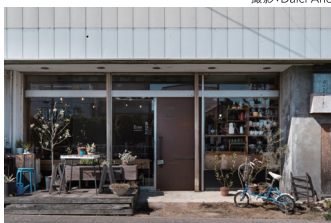
飛生アートコミュニティ [北海道白老町]



飛生アートコミュニティは、旧飛生小学校を活用して1986年に設立された共同アトリエ。主に作品の制作や芸術祭、プロジェクトなどを開催し、世代を継いで現在まで様々なアーティストが活動を続けてきた。

参加作家: 相川みつづ、奥山三彩、金川太一、カワジリョウイチ、国松希根太、小助川裕康、高張直樹、山下圭介、他

撮影: Daici An



Barrack (Taiki Furuhashi + Kanako Kondo)

Barrack (古畑大気 + 近藤佳那子)

[愛知県瀬戸市]

2017年愛知県にて結成。ペインターの近藤佳那子と古畑大気によるアートユニット。愛知県瀬戸市でカフェとギャラリー、その他複合的な機能を持つ「Art Space & Cafe Barrack」、「Who are you たそかれ」を運営。月毎の企画展に加え、トーク、ライブ、ワークショップなども開催。また、Barrackとしてアートイベントやプロジェクトに参加し、自主企画も行う。美術・食・歴史・音楽・造形教育といった多層的な要素を取り込みながら、人との関わりの中で作品やスペースを展開する。2019年より、3年ごとに市内の遊休施設を使い瀬戸ゆかりの作家達の大規模展覧会「瀬戸現代美術展」を主催している。

参加作家: 阿野太一、植松ゆかり、城戸保、文谷有佳里、Barrack (古畑大気 + 近藤佳那子)

山中suplex [滋賀県大津市]

Yamanaka suplex



2014年に設立された滋賀県大津市山中町にある共同スタジオ。京都の市街地から車で15分、京都と滋賀の県境にある比叡山に位置しており、染織、樹脂、陶芸、金属加工、石彫、木工などの表現や、屋外での大規模な作品制作を実現することが可能。当初から段階的に制作スペースや専門機材などを拡充している。個人制作だけに限らず山中suplexという集団としても、イベント、展覧会、ワークショップなどを企画・実施しており、制作だけではなく発表のスペースとしても機能しつつ、芸術家による持続可能な活動への支援や芸術家同士のフレンドシップに重きを置いて活動している。

参加作家: 向井詩織

オープニングトーク「いくつもの、場所、実践」

札幌では、苗穂にある2つのシェアアトリエ(なえぼのアートスタジオ、0地点)が今年11月に閉鎖され、そこで営まれてきたアートコレクティブの協働も一区切りを迎えます。本展のオープニングトークとして、活動終了を目にしたなえぼのアートスタジオに出展者が集い、それぞれのコレクティブの活動や実践を紹介するとともに、活動する「場所」と協働の関係、そしてこれからの実践のあり方についてディスカッションを行います。

日時: 2026年10月17日(土) 15:00~18:00

会場: なえぼのアートスタジオ

住所: 札幌市中央区北2条東15丁目26-28
(JR苗穂駅から徒歩8分 / ピンク色の建物)

入場無料

予約
フォーム



会期:

2026年10月17日(土)
~12月21日(月)



ご来場いただいた方を対象にWEBアンケートを実施しております。今後のより良い企画運営のため、ご協力をお願いいたします。

●回答方法 / スマートフォンやパソコンを使って下記URL又は二次元コードからアクセスしご回答ください。

札幌市公式HP ホーム > 教育・文化・スポーツ > 文化・芸術 > 札幌市所管の文化施設について(指定管理者制度など) > 札幌大通地下ギャラリー「500m美術館」
https://www.city.sapporo.jp/shimin/bunka/500mbijutukan/2026_questionnaire500m.html



さっぽろ市
02・D05-26-443
R8-2-357